

GOOD DESIGN賞受賞 ～製品価値評価法(デザイン手法)～

公益財団法人日本デザイン振興会が行う GOOD DESIGN AWARD 2011 の受賞結果が発表されました。

弘前地域研究所の生活技術研究部では、H20～H21 に製品価値評価法の研究事業を実施した製品価値評価法が、GOOD DESIGN賞を受賞しました。

製品価値評価法とは、製品を5つの価値(性能・機能・情報・価格・表情)によって評価し、商品構成上不足な価値や高めるべき価値を見極め、商品化へ結びつけるデザイン手法であり、「純米大吟醸 華一風 200ml」好事例として応募しました。



■ 2011年度 グッドデザイン賞 受賞

- 受賞番号 : 11G15036
- 受賞対象名 : 県産品の価値を高めるデザイン手法の追求ー製品価値法を用いてー〔純米大吟醸 華一風〕
- 事業対象名 : (地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所
- 分類 : デザインによる研究・開発
- 受賞企業 : 地方独立行政法人青森県産業技術センター 弘前地域研究所(青森県)
- 概要 : 青森県は、良質な素材や伝統のある加工技術など、豊富な製品が多数存在する。しかし、商品としての出荷は少なく、素材や加工品での出荷が多い。研究では、素材・加工品を商品化するため、製品の価値(性能・機能・情報・価格・表情)の評価とニーズのマッチングから仮説をたて、製品価値を再構築できる簡易なデザイン開発手法を構築し、デザイン開発から商品化へむすびつけたものである。事例として日本酒「純米大吟醸 華一風」を題材とし、女性をターゲットとする日本酒のボトルデザイン開発を実施、新規販売店の確保につなげたものである。※素材・加工品の出荷 70% 商品出荷 30% /2010 青森県調査
- プロデューサー : (地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所 生活技術部長 舘山大
株式会社カネタ玉田酒造 玉田宏造
- ディレクター : (地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所 生活技術部 工藤洋司
国立大学法人弘前大学教育学部美術教育講座 准教授 佐藤光輝
- デザイナー : 国立大学法人筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術専攻デザイン学分野
工藤真生(2010年 国立大学法人弘前大学大学院教育学研究科美術科 教育専修修了)
- 発売 : 2010年8月1日
- 価格 : 780円
- 販売地域 : 日本国内向け
- 問い合わせ先 : (地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所 生活技術部
Email:yoji_kudo@aomori-itc.or.jp
URL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2450>